

「庄内川下流部での^ひ砒素検出の調査結果について」(第2報・最終報)

庄内川では、より安全に洪水を流下させるため、しゅんせつ工事（河道掘削工事）を実施しています。工事に先だち、庄内川右岸の施工予定箇所^ひで土壌調査を行った結果、環境基準値を超える^ひ砒素が検出された旨を平成28年8月3日にお知らせしたところですが、その後、詳細な土壌調査の結果が出たのでお知らせします。

1. 前回お知らせ内容

掘削工事の実施にあたり新前田橋上流3地点で土壌調査を行ったところ、環境基準値(0.01mg/L)を超える^ひ砒素が検出されました。検出された^ひ砒素の濃度は、0.012mg/L～0.026mg/Lで最大で環境基準値の2.6倍でした。そのため、工事に先だち詳細な土壌調査を行うこととしました。

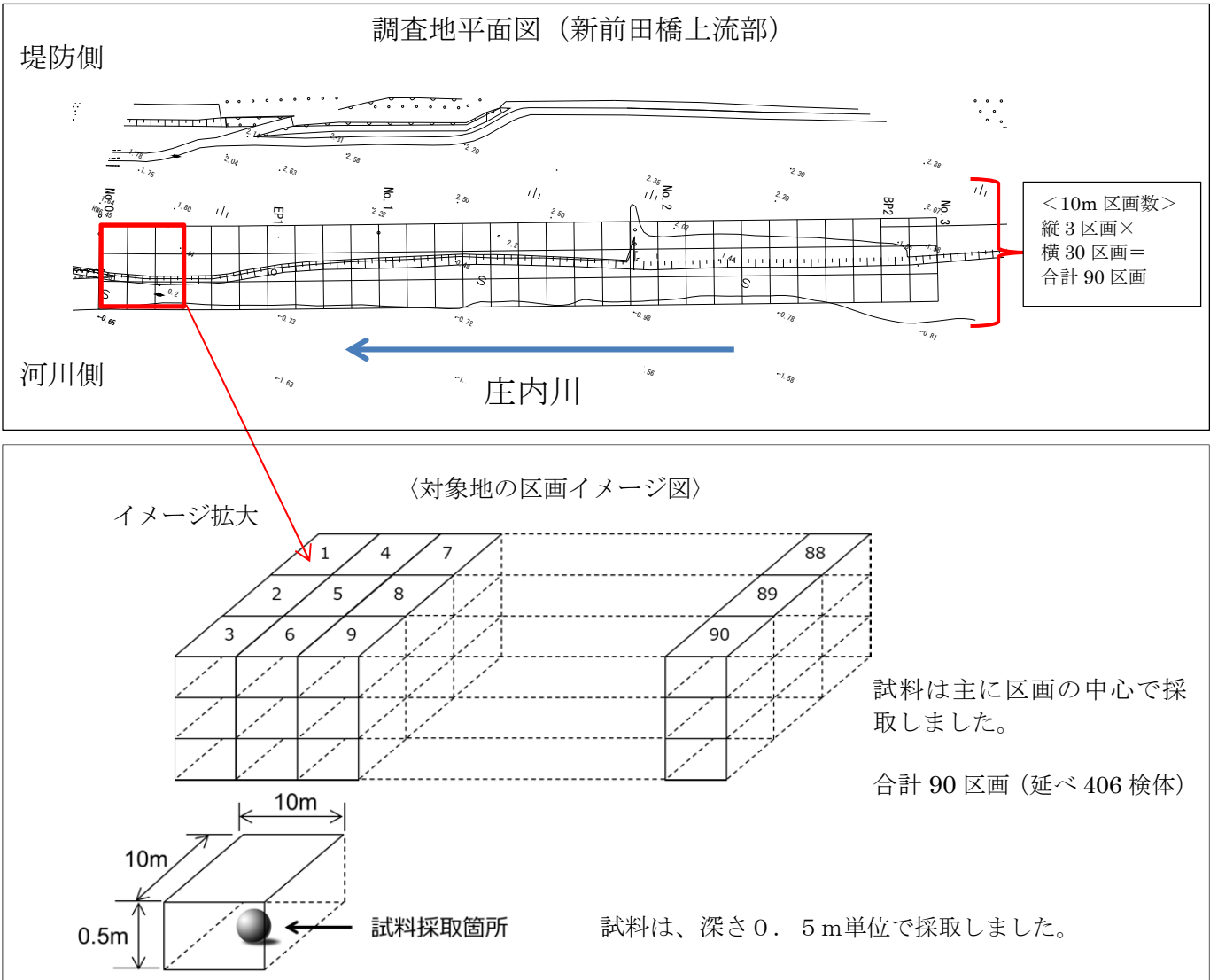
また、当箇所下流の庄内新川橋において4月に当河川事務所が実施した水質調査では、環境基準を超える^ひ砒素は検出されていませんでした。



＜土壌調査箇所の位置図＞

2. 追加調査の方法

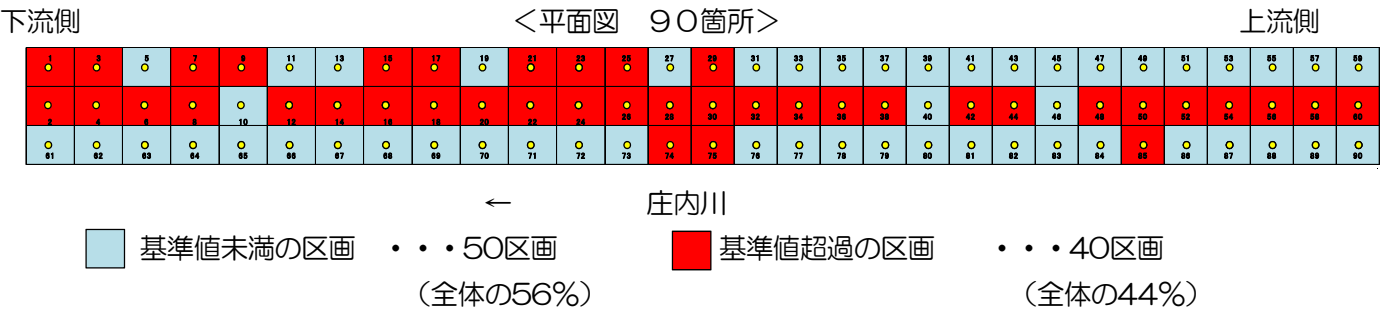
より細かく汚染範囲を確定するため、工事予定箇所を10m×10mの区画(90箇所)に区切り、地表から工事で掘削する深さまでの土壌を0.5mピッチで採取して分析を実施しました。



3. 調査結果

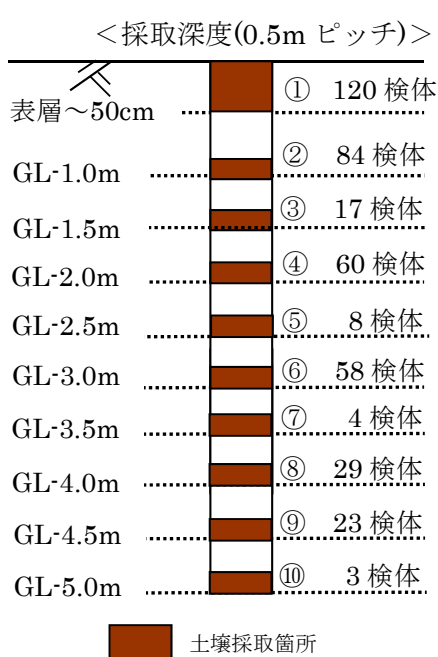
調査結果を下図に示します。

（1）平面調査結果



環境基準値を超えたのは、90区画中40区画（全体の44%）でした。

(2) 深度方向調査結果



(環境基準値 : 0.01mg/L)

＜^ひ砒素の濃度 (mg/L) の集計表＞

	最大値 mg/L	環境基準値超過 の割合 (%)
①	0.047	24%(120 検体中 29 検体)
②	0.041	44%(84 検体中 37 検体)
③	0.023	29%(17 検体中 5 検体)
④	0.015	12%(60 検体中 7 検体)
⑤	0.011	12%(8 検体中 1 検体)
⑥	0.036	9%(58 検体中 5 検体)
⑦	0.005 未満	0%(4 検体中 0 検体)
⑧	0.010	0%(29 検体中 0 検体)
⑨	0.007	0%(23 検体中 0 検体)
⑩	0.008	0%(3 検体中 0 検体)

今回の調査では、406検体採取した中で環境基準値を超えたのは84検体（全体の21％）でした。
また、環境基準値を超える^ひ砒素の濃度は、0.011～0.047mg/L※でした。

※最大で環境基準値の4.7倍

4. 汚染の原因について

今回の調査では深さ3.0m付近まで部分的に汚染が広がっていることから、自然由来と推定されます。

5. 汚染の影響について

当事務所が実施する水質調査については環境基準を超える^ひ砒素は検出されませんでした。

6. 今後の対応について

当地区における流下能力の向上を目的とした当該箇所の掘削を進めていきます。

また、汚染された掘削土砂につきましては、名古屋市環境局等関係機関と調整を図り、工事の際には地域住民に配慮し、土壌汚染の拡大防止に十分注意し適切に処分します。

以 上